

OSS Information Supply Service

OSS情報提供  
サービスOSS脆弱性情報などをタイムリーに提供し  
OSS利用リスクを軽減

## OSS\*に関する各種情報を収集してレポートします。

OSSの脆弱性情報、EOL\*情報、リリース情報を定期的にレポートします。

近年はOSSが大規模、複雑化しており、1本のOSSでも必要となる前提OSSが数百本になることもあります。

OSS情報提供サービスをご利用いただくことで、膨大な情報収集および整理にかかる工数を削減できます。

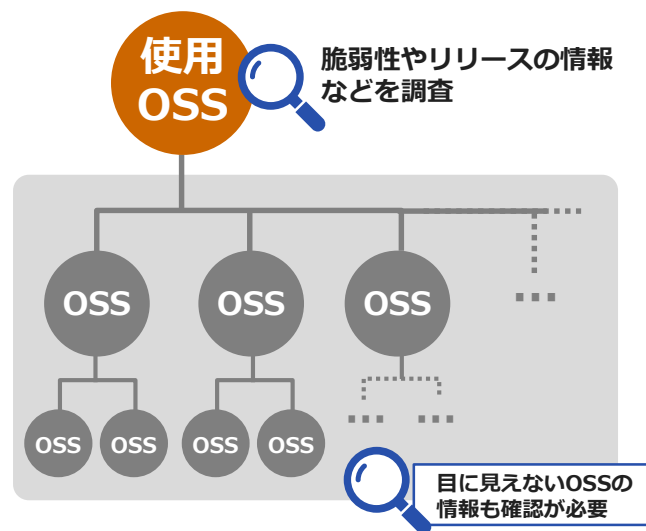
また、各種情報をタイムリーに入手することでOSS利用リスクを軽減できます。

## OSSを利用するにあたっての問題

OSSを利用する場合、使用しているOSSの脆弱性やリリース情報を常に収集し、リスクに対応する必要があります。さらに、システムが直接使用するOSSだけでなく、含まれているすべてのOSSを調べ、各OSSにおける情報などを確認して対応する必要があります。

しかし、いざ情報を集めて確認しようとしても、以下のような問題があるのが現実です。

- OSSの脆弱性やEOLの情報をどこから入手すればよいかわからない。
- 十分な情報収集ができず、対策が遅れる。
- 情報量が多く、整理しきれない。
- 日々サイトを検索して情報を手作業で収集して整理するため、煩雑でコストがかかる。
- コミュニティ活動が停滞してEOLが公表されないまま、知らないうちに事実上のEOLを迎えていた。



そのような問題を解決するのが  
日立のOSS情報提供サービスです。

\*OSS : Open Source Softwareの略。ソースコードが無償で公開され、改良や再配布を行うことが誰に対しても許可されているソフトウェア。

\*EOL : End Of Lifeの略。ソフトウェア製品などのサポート終了の意味。

## 各種の情報をレポート形式で提供

日立のOSS情報提供サービスでは、OSSを管理する上で必要な情報をレポートにして提供します。レポートには、速報レポートと月次レポートがあります。

### 速報レポート

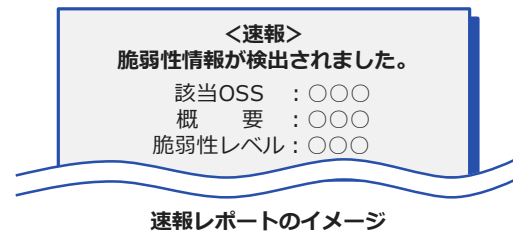
準公的機関の脆弱性情報データベース(NVD、JVNなど)<sup>※1</sup>を日々監視<sup>※2</sup>し、お使いのOSSに関する脆弱性情報が公表された場合、速報をお届けします<sup>※3</sup>。

※1 NVD : National Vulnerability Database

JVN : Japan Vulnerability Notes

※2 原則として当社が定める営業日に実施します。

※3 速報レポートは、1日1回を上限とします。



### 月次レポート

お使いのOSSにおける1ヶ月分の脆弱性情報、EOL情報、リリース情報およびそれらの概要を視覚的にわかりやすくレポートにしてお届けします。

#### ■ 脆弱性情報

1ヶ月分の脆弱性情報を、深刻度別に色分けした一覧形式のレポートにします。

深刻度	ID	日時	内容
High	JVNDB-2017XXX	2018/03/30 16:07:00	シリアライゼーションに関する脆弱性が・・・
Medium	CVE-2016XXX	2018/01/04 03:21:26	An issue was discovered・・・

深刻度別の脆弱性情報のイメージ

#### ■ EOL情報

ご利用のOSSコミュニティが公表したEOLの情報を収集します。また、EOLが公表されないOSSにおいては、当社がコミュニティを観測して活動状況をレポートにします。

#### ■ リリース情報

ご利用のOSSコミュニティの公開リポジトリを観測し、リリース情報やバグ対応情報を収集して一覧形式<sup>※4</sup>のレポートにします。

※4 OSSリポジトリのリリースタグへのリンク情報を提供します。

## サービス利用メリット



### OSS情報収集における時間とコストを削減

膨大なOSS情報を収集・整理・分析するには時間がかかることはもちろん、専任の要員を用意したりといったコストもかかります。サービスを利用すれば、このようなOSS情報の収集にかかる時間やコストを削減することができます。



### セキュリティリスクやサポート終了リスクを軽減

脆弱性情報レポートを速報で受領できるため、セキュリティリスクに対して迅速に対応できます。また、EOLが公表されないOSSにおいてもEOL情報を把握できるため、サポート終了リスクを軽減できます。



### 柔軟かつ計画的な対応が可能

月次レポートにおける脆弱性情報は深刻度がわかるように提供されているため、優先順位をつけて対策できます。また、新機能情報や改善情報などを定期的に把握することで、システムのアップデートを計画立てて実施することができます。

## サービス費用

OSSの数やご提供する情報によって異なります。  
サービスご利用をご検討の場合はお問い合わせください。

●サービスの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

### お問い合わせは下記へ

■日立エンタープライズ アプリケーションサービス情報サイト  
<http://www.hitachi.co.jp/appsdiv/>